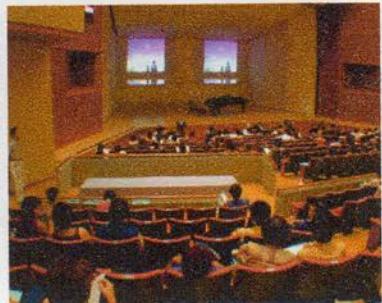
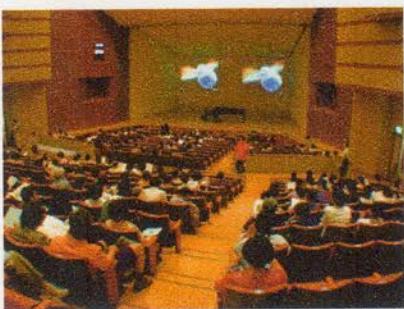
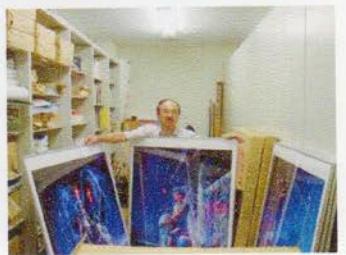
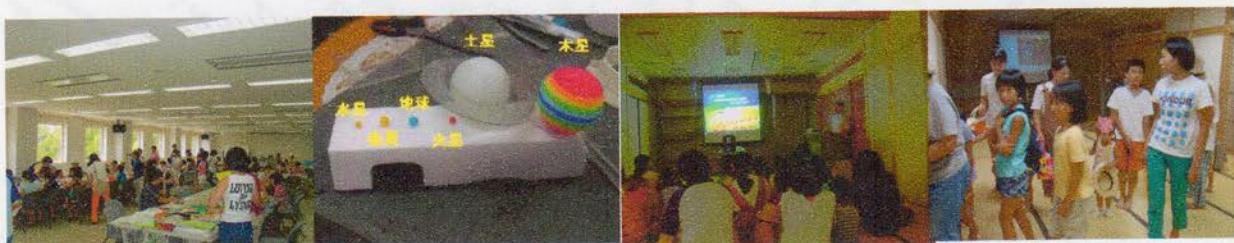


星屑

No.330
Sep. '02





県民天文台20周年を祝って

記念

民天文台総会



城南町長 八幡紀雄

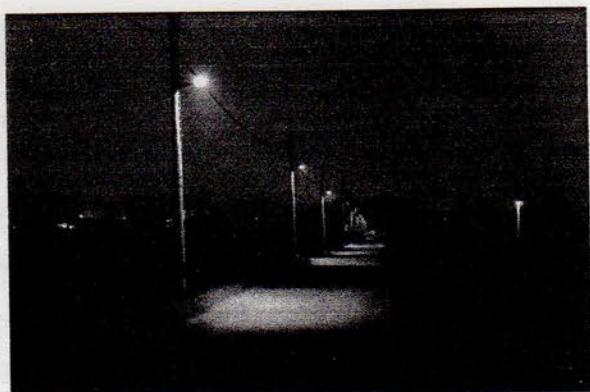
この度は、熊本県民天文台20周年まことにあめでとうございます。地元の城南町民を代表して心よりお祝い申し上げます。

20年前に天体観測の愛好者の方々の熱意により、城南町の藤山地区に県民天文台が星を見る拠点として、地元城南町はもとより県下の理解ある多くの人々の協力により、建設されました。その後近くに工業団地が造成されるのに伴い、現在の塚原古墳公園の一角に移転されて現在に到っています。

城南町は熊本市に近い割には、まだ自然が豊かで生活環境に潤いがあると言えると思います。しかし近年熊本市のベッドタウンとして人口が増え続けています。そんな状況の中、小中学校の通学道路の街路灯がほとんど未整備で、防犯上の不安の声がありました。そこで通学道路を重点的に街路灯の整備を進めることにしましたが、その時に光線が夜空の自然と作物とに、ひかり（光）害があることを知りました。そこで光害のない照明器具を調査しました。県民天文台長を始めふる里ネットの方々にもご協力をいただき、やっと現在設置を進めている器具が見つかりました。価格的には大分と割高で予算面では相当に負担も増えましたが、貴重な夜空の自然環境を守る重要性から、思い切って採用し設置を進めたところです。夜空に光害を起こさずに通学路の安全に街路灯が整備できて、本当に良かったと喜んでいます。

近くに天文台があることで、地元の子どもたちに星空への関心を持つ良い機会となり、会員の愛好者のボランティアで運営され、感謝にたえません。またこの天文台で発見された小惑星に‘城南’の名称をつけ国際登録していただき、町民を代表し有り難くお礼を申しあげます。

これからも星を観るのが好きな人があいに増え、県民天文台が益々発展されますことを祈念いたしまして、20周年のお祝いの言葉といたします。



熊本県民天文台 開設20周年

おめでとうございます！

龍ヶ岳町長 辻本 両造

（略）

熊本県民天文台総会



皆様こんにちは。

ただいま、ご紹介いただきました辻本です。

本日は、熊本県民天文台の総会が盛会の中で開催されますことを心からお喜び申し上げます。

龍ヶ岳町にはミューイ天文台があります。ミューイ天文台は開館以来13年目を迎えようとしていますが、その間、今日ご出席の県民天文台の名誉台長宮本先生にはミューイ天文台のことでいろいろご指導いただきありがとうございました。

そのようなご縁もありまして、大変名誉ある「龍ヶ岳」という小惑星の名前をいただいたものと思ってあります。心よりお礼を申し上げます。

熊本県下には8ヶ所の天文台があると思いますが、これからも県民天文台が各天文台の中心となってご指導をお願い致します。

最後になりましたが艶島先生を中心に県民天文台が益々発展いたしますと共に、小林先生におかれましては、更に多くの彗星や小惑星を発見されることを願っています。

本日は誠にありがとうございました。

熊本県民天文台の20周年あめでとうございます

力を合わせて 次の一歩を

台長 艶島 敬昭

ご協力ありがとうございました

5月の総会をスタートに、7月6日の星空寄席、火の君総合文化センターでのKAGAYAデジタルアート展、天文台の連夜一般公開、渡部潤一氏の天文講演会、子どもフェスティバル、城南夏祭り、そして、「五嶋みどりリサイタル」と、たくさんのイベントを連ねた20周年記念行事が終了しました。

よくもまあこれだけのイベントを連續して打ち抜ける人材と力があるものだと感心せずにいられません。リサイタルを頂点に、町と文化センターの事業「スター・ワイーク城南」として取り組んで頂けたことが大きな支えだったことはいうまでもありませんが、会員の皆さん、運営委員の皆さんのご協力なしには実現できなかつたことですから、心から「ありがとうございました」とお礼の言葉を贈ります。

到達点を確かめよう

リサイタルまで10ヶ月をかけて、文化センターの運営ボランティアの方々と一緒に、天文台運営委員の数名が会合を重ねて作り上げたイベントでしたので、終わったあとの笑顔はまた格別のものがありました。若手の成長にも目を見張るものがありました。やはり、新しい力や新しい人材は、力強い活動の中から生み出され獲得されていくものようです。

記念のイベントが終わったとはいえ、今は夏休み期間中、たくさんの学校や団体から観

望会の希望が寄せられていて息をつく暇もないという感じですが、多くの人々の善意と努力に支えられた県民天文台の20年の歩みが、みどりさんやKAGAYAさんの惜しみない協力につながったことを振り返り、今こそ私たちの到達点をしっかりと確かめましょう。

力を合わせて 次の一歩を

「星を見て楽しむこと、見せて楽しむこと、観測して楽しむこと」の3拍子そろったアマチュア天文台の20年は、渡部潤一さんの言葉を借りれば「信じられない」快挙と言えるでしょう。私は、私たちの天文台のすばらしさは、時代の変化を先取りしながら波の先頭で「遊び」続けていることだと思っています。そして、政治や経済が行き詰まり教育も大きく変わらなければならなくなつた今日、星空の見える環境を守り、星空を取りもどすことは天文愛好家に課せられた大きな課題になります。天文教育や理科教育の崩壊の危機も叫ばれ、改善のための具体的な取り組みも求められています。

私たちは、「自由な意志」に基づいて、これらの諸問題に取り組みましょう。20年間の蓄積が私たちを支えてくれるはずです。地域や市民と連携して着実な改善を目指し、行政に的確なアドバイスを行いながら進んで行こうではありませんか。

会員の皆さん、力を合わせて次の一步を、力強く進めて下さることを期待します。

杞憂

— 二十年を祝して —

西岡鐵夫

杞憂という言葉がある。余計な心配、心配する必要のない心配を意味する。

「杞国二人アリ。天地ノ崩墜シテ見寄ル所ナカランコトヲ憂エテ寢食ヲ廢スル者アリ」 という列子天端篇の故事が、この言葉の出典になっているらしい。

確かに天が落ちてきはしないかと心配するのは、全く馬鹿馬鹿しいナンセンスに違いない。しかし、この長い地球の歴史では、天ならずとも天体が落ちてきた証拠は、数多く残されている。約2億5000万年前のそれは、大半の地球上生命体を滅亡させ、約6500万年前のそれは、恐竜時代絶滅の一因ともなっている。

まさしくこれは、天体でなく天が落ちてきたともいえるだろう。ただ、それは昔、昔、人類誕生以前、数千万、数億年前の出来事というだけの話。

ところがこの夢物語が、今、現実に再現されようとしている。つい先日、17年後の2019年2月1ごろ、地球衝突の可能性がある小惑星が見つかったというのだ。「2002 NT7」と名付けられたこの小惑星は、長径2km、もろに地球に激突したら、その破壊力は、広島原爆4000万個に匹敵するらしい。これこそ天が落ちてきたと警えるべきで、地球は壊滅的打撃を受け、今度は人類滅亡にも繋がりかねない。あながち「杞人の憂い」もナンセンスとは笑えなくなるのである。

ともあれNASAあたりでは、この「2002 NT7」の監視、追跡の情報提供のため世界のプロ、アマの天文台、天文家へ観測を要請している。当然わが県民天文台もこの要請に協力していくであろうし、またそれができる天文台もある。

さて、県民天文台といえば、このたび二十周年の節目を迎え、めでたく一人前

の大人に成人した。この間、相次ぐ新彗星の発見など天文界への貢献は目覚ましく、ご同慶の至りだ。これから益々のご活躍をお祈りする。

ここで、県民天文台のもう一つの功績も忘れてはならない。それは天文台を広く県民に開放し、星空への関心を普及向上させた、一般公開の実績である。この方も今後一層の奉仕活動を期待する。二十周年を祝福するにあたって台員ご一同の天文界への貢献、また一般公開というボランティア精神を絶賛したい。

思えば創立当初の総会だったか、「晴天なら毎晩、誰にでも無料で星を覗かせ、解説もしたい」という提案がなされた。県民の浄財で完成した天文台である。県民に開放するという責任感は大いに評価する。しかしそれが、毎晩ともなると台員の体制は大丈夫だろうか、またその途中挫折なんて憂き目は見たくもない。その時台長だった私は、その心配を台員一同に問い合わせた。

しかし一同の答えは素晴らしい。「私たちには責任感、義務感、使命感なんかよりも、それ以上の『趣味感』があるから大丈夫、そんな心配は杞憂に過ぎません。」

このとき「趣味感」とは、仕事を完遂するためには最高の新語だと感心させられた。ただ「杞憂に過ぎない」という発言に対しては、まだ一抹の不安、心配を残していた。しかし、「趣味感」という言葉は出席者それぞれの胸に響き、提案は了承された。

あれから20年、今ではあの時の心配が、確かに杞憂であったことを痛感している。そしてこの杞憂という言葉を聞くたびに、あの時を憶いだし、天文台に思いを馳せる。

(「2002 NT7」も杞憂だったようである)

熊本県民天文台20周年を祝う

宮本幸男

1982年5月16日、熊本県民天文台は目出度く開所式を迎えることが出来た。お祝いに駆けつけて下さった、国立科学博物館の村山先生を囲んでの飲み会が、今でも目に浮かぶ。

天文台建設に際し、物心諸々のご協力を頂いた方へのお札の気持ちも含め、天文台は無料一般公開を約束した。

それから20年経った2002年、幾らかの世代交代にもかかわらず、今なお初心が貫徹され、まことに目出度い。感謝の気持ちを込めて、お祝いを申し上げる。

天文台に来られるお客様と共に、星を楽しみ、語り合う。この楽しみは最初から言っていたことであるが、そこには理屈抜きで自然の素晴らしい景色を感じ取る雰囲気が生まれる。

自然を慈しみ、護りたいと心の底から思う人が増えれば、地球バンザイ、熊本県民天文台バンザイである。

スタッフのご健闘を祈る。（おわり）

祝 20 周年・熊本県民天文台

永井 剛

20周年おめでとうございます。あれから、もう20年ですね。

よく思い出すのが、最初の天文台が作られた城南町藤山に、31センチ反射望遠鏡が届いた時のことです。望遠鏡の大きさや美しさに驚き、組み立てが進むのをわくわくしながら見入ったことでした。その時の感動は、一生忘れるのではないでしょうか。

数年たってからの31センチ反射鏡を掃除した時のこと。測地衛星の観測のことなども、次々と思い出します。そんな場所に居合わせた私は本当に幸せだと思っています。

残念ですが、現在の塚原の天文台建設には、あまり協力できませんでした。その頃、天文台の事務局があった私の勤務先の熊本博物館に、新しいプラネットリウムの機械が入ったためです。

ただ、建物の表示登記だけは、立川則之さんの大きなご協力のおかげで済ませることができました。

プラネットリウムといえば、会員の多くの方に番組作りで声の出演をお願いしたこと、天体写真を提供して頂いたことなど、有難く思い出しています。

ずっと昔まで振り返ってみると、私たちの天文同好会では、面白い天文現象がある度ごとに良い場所を探し求めての観測から脱皮して、空のきれいな所に小屋でもいいから観測所を作りたい。そして、少し大きい望遠鏡があればなおいいな！そんな夢がふくらんで、やがて、一部の熱心な会員の調査によって場所が城南町に選ばれ、地元城南町の皆さんをはじめ多くの県民の皆さんのご協力を頂いて、それが実現することになったのです。

きれいな夜空を求め、天体望遠鏡を運んで観測した時代も結構楽しいものでしたが、やはり、大きな望遠鏡がいつでも使える魅力にはかないません。それに、お客様と共に観察し喜び合うことの楽しさはまた格別です。

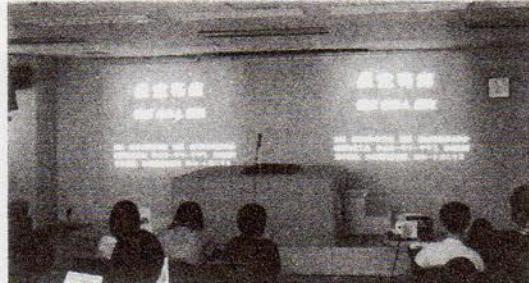
こんな素晴らしい天文台が、ずっと、ずっと、続くことを心から願っています。そのためには、ご苦労ですが役員・運営委員のみなさんに、今後ともお力を発揮して頂き、会員みんなが協力して行けるよう願っています。

星空寄席「銀河の恋の物語」 電子紙芝居とのコラボレーション

柳家小ゑん師匠 10年ぶりの公演！

中島 尚

2002年7月6日(土)城南町火の君総合文化センターにて

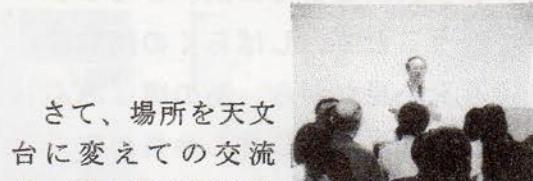


この日は、朝から暑い日だった。飛行機がきちんと着くのかどうか心配しながら、準備を進めた。なにせ、10年ぶりである。今回の20周年の一連のイベントのスタートである。うまくいくかどうか不安が募る。あまり一般にお知らせもしていないだけに、客足の伸びが不安であった。

しかし、開演前になると地元城南町はもとより、熊本市内からもたくさんの方々が来られ、100席以上用意した座席が埋まってしまった。昼前から準備に取り組んだ甲斐があったと喜んだ。

この日の寄席は、2台のプロジェクターでバックをつくり、師匠の熱演となつた。その様子は写真をごらんいただきたい

い。さらに今回の特徴は、電子紙芝居とのコラボレーションということだ。共に舞台を作り上げるという試みは、なかなかに楽しいものだった。公演後は、ザルを持って寄付を募ったのだが、これがすごい反響でびっくり！



さて、場所を天文台に変えての交流会。龍ヶ岳天文台の木戸さん差し入れのサザエを、壺焼きにしてみんなで賞味。大変盛り上がった一夜だった。



熊本県民天文台20周年記念式典・天文講演会

7月20日土曜日の午後1時30分から城南町火の君総合文化センターにおいて熊本県民天文台20周年記念式典、午後3時から国立天文台渡部潤一広報室長を講師にお迎えし、天文講演会「ぼくたちは星のかけら」を開催しました。

熊本県民天文台20周年記念式典

式典は、艶島台長から電子紙芝居を使って天文台20年を振り返りながら挨拶があった後、来賓としてご来場いただいた渡部潤一国立天文台広報普及室長、星空を守る会大友哲さんと宇土ロータリークラブ荒木酒店社長から祝辞をいただきました。

また、20周年記念として発行予定の「星屑」アーカイブ（これまでの星屑の記事をデータベースにしようというもくろみのことです。）について、担当の高田氏から説明がありました。

その後、講演会までの間、レセプションということで、しばらくの間開設当時の写真を見ながら、あの頃はみんな若かったなどはおじさん会員の言。

講演会の前とすることでアルコール抜きの茶話会みたいなものになりました。

熊本県民天文台も開設からはや20年が過ぎました。アマチュアが運営する公開天文台としては全国唯一と自負する形態でよくぞ20年もやってきたものだと感慨ひとしおです。

星空を守る会から感謝状贈呈

天文講演会に先立ち、星空を守る会から城南町における上方光束ゼロの防犯灯設置による光害防止の取り組みに対し、城南町、宇土ロータリークラブ、ふるさとネット、岩崎電機と熊本県民天文台に感謝状が贈呈されました。



熊本県民天文台20周年記念講演会—ぼくたちは星のかけら—

国立天文台渡部潤一広報普及室長を講師にお迎えし、講演会を開催しました。



最新の観測結果を踏まえた、星の一生についての解説や、人間の体を作っている物質を含め、地球を構成する全ての物質が星の「かけら」でできていると大変わかりやすい説明で講演をいただきました。

また、すばる望遠鏡が作られ、ハワイの天文台に設置されるまでの記録VTRの放映もあり、望遠鏡の主鏡の上に人が乗っているという珍しい光景も記録されていました。

講演の中で、星を好きな人たちが星の美しさを多くの人に知ってもらおうと、20年間活動を続けたことはすばらしいことと、熊本県民天文台へのお褒めの言葉もいただきました。

渡部先生・大友さんを囲んで

20周年記念式典も無事終了して、国立天文台の渡部先生と星空を守る会の大友さんを囲んで、恒例の大宴会！です。改めて、こうやって飲んでいるから熊本県民天文台は20年続いたんだと、渡部先生に誤解を与えるような大宴会になりました。またまた、龍ヶ岳ミューイ天文台の木戸台長から取れたてのサザエの差し入れもあり、和やかにそしていつものように宴会モードは過ぎていきました。（木戸さんありがとうございました。）

ところで、星空を守る会の大友さんは、あの「35mmによる写真星図」を出版されたメンバーのお一人だということが、このとき知りました。やっぱり飲まんといかんと改めて感じました。



<大宴会！？の様子です>

担当・文責：小林ま

城南町子どもフェスティバル大成功！

鹿釜 崇裕

7月21日（土）、城南町子どもフェスティバルが火の君総合文化センターで行われました。12時30分の受付開始前から人が来はじめ、13時の開会のときには開会式の行われたホール前のホワイエは人で一杯で身動きが取れないくらいでした。

天文台からは、電子紙芝居と惑星直列セットを出品しましたが、そのほかにもスライム作りやアルコールロケット、人形劇などいろいろなコーナーがあり、来ていた子ども達はとても楽しそうでした。

私の割当ては惑星直列セットだったのですが、開会式での宣伝で「“惑星直列セット” いまだけ50セット限定！」と言ったせいでしょうか、どっと人が来て部屋はたちまちあふれかえり、どうしようもなくなりました。そこで、土台となる竹を半分に切った物を取りきらなかった人に渡し、これががあれば後から来ても大丈夫ということにして、多すぎる人をどうにか部屋の大きさにあう人数にして、やっと始めることができました。はさみが足りない、接着剤が一つしかないなどの問題が起きましたが、お手伝いいただいた中島さんのおかげで無事に終了しました。電子紙芝居は3クールの上演で大盛況だったそうです。

また、開場内で宇宙に関するクイズラリーが行われたのですが、これに使われたクイズ、実は天文台のみんなが知恵を絞って考えたものなのです。三択問題ですがみなさんは解けますか？

- (1) いちばん大きいもの ①月 ②太陽 ③地球
- (2) いちばん遠い星 ①月 ②太陽 ③おりひめ星
- (3) 肉眼で見える星 ①うめぼし ②にぼし ③ひこぼし
- (4) 去年11月大出現した流星群 ①しし座流星群 ②ねこ座流星群
③とら座流星群
- (5) 天文台が「城南」と名づけたもの ①小惑星 ②流れ星
③ほうき星
- (6) いちばん重いもの ①角砂糖 ②地球 ③ブラックホール

祭りの夜 (出店 in 城南町夏祭り)

きれいに晴れ渡った7月24日。ぴかぴか光る金星を眺めながら、天文台に向かった。ううーん、これはお客様が来るかも。わくわくしながら天文台へ到着。早くも学生さんが待っていた。が・・・お客様が来る気配がない・・・ひまだ・・・

で、某ひげ氏に連絡を取ると、「こっちの方が楽しかばい。こんね」もちろん祭り会場のことだ。立ち入り規制の検問も何のその。愛車D10は裏道をすいすい。「天文台関係者ですう」などというセリフも必要とせずにあっという間に会場へ。広場ではT台長の電子紙芝居のすぐ近くでYさんが出店をやっていた。

電子紙芝居はなかなかの盛況。スクリーンの「へのカッパ」を見ている子どもたち、そぞろ歩きの親子連れ。花火でにぎわった前日に比べればずっと落ち着いた雰囲気だったと思うけど、それでもなかなかのお祭り気分。町中の光にも負けず、夏の大三角形と金星が存在を主張している。そして見事なまでの満月。



Yさんは、昨日も出店をしてたとか・・・ごめんなさあい。私ぼけてましたア。27日のことしか頭にありませんでしたア。ということであわててお店のお手伝いを始めた。

商品は、昔仕入れていた星グッズの残り。特別大安売りでなかなかの人気である。売り子はYさん、私、そしてYさんの愛弟子「宇宙」君。よってくる子ども

西嶋

たちに星グッズのよさをアピール。1番人気はやっぱり光るキーホルダーでした。で、必ず出てくるこの質問「〇月〇日は何座ですかア」うーん。覚えちゃいないのよねー。必死で星座キーホルダーの小さなラベルを読む。なんことやってるとそばにいた詳しいお客様が「確かに、**座の次だから**座ですよ」あ、ありがとうございます。

やってるうちに道行く人の中には知った顔が・・・「あーっ」「ええーーっ」「ここで何やってんですかー」「どーして、なんで、」etc. etc.・・・だからア、天文台のメンバーなんだってば！！ええい、ついでに星空解説しちゃえ。つて、金星だの夏の大三角形だのとやってしまう、ああ運営担当の・・・

やがてYさんは仕事？！しに闇の中へ。残された宇宙君と私といつのまにやらやってきたN氏とでお店番。周りには某ひげ氏をはじめとする天文台メンバーもうろうろ。そんなに忙しくもなく、暇すぎるでもなく、マイペースで楽しむことができた。

そうこうするうち電子紙芝居も終わり、お祭りも終わり、お店の撤去となつた。前日の分と併せて3万円以上？！単価の安さからするとすごいかも。仲間内で売り上げに協力いただいた皆様、ありがとうございました。（感謝感謝）



2002年7月23/24日
城南町夏祭りにて

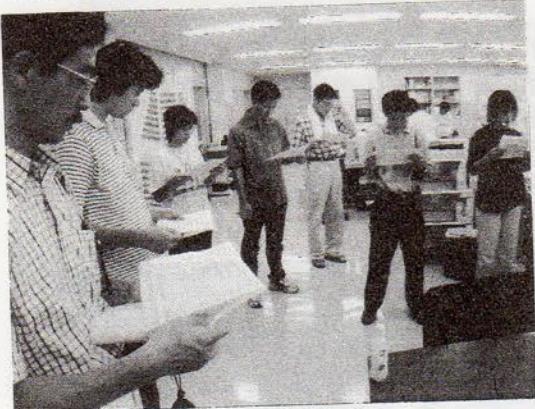
すばらしい映像とヴァイオリンの響きが、ホール一杯の観客を魅了しました

五嶋みどり トータル エクスペリエンス・リサイタル

ほし
— 絆 — この地球に生まれて

SONYミュージック財団が、五嶋みどりさんのデビュー20周年を記念した、トータル・エクスペリエンス「絆」リサイタルの開催ホールを募集していると聞いて、火の君総合文化センターと協同して企画案を練り応募したのは去年の夏の終わり頃。

天才少女ヴァイオリニストとしてデビューされたみどりさんが、幾多の困難を乗り越えて今日の名声を築かれたことは素晴らしいことですし、私たちの小さな天文台が設立以来20年にもわたって活動を続けてきたことも、世界に誇る素晴らしい業績だと思います。



目指したのは、奇しくも20周年という共通項を持ったこの2つを結びつける「絆」をさぐり、星の世界と音楽の世界をつなぐ努力を通して、観客と演奏家が一体となってリサイタルを構築し、お互いの新しい世界を切り開こうとする、文字通りのトータル・エクスペリエンス・リサイタルです。

7月27日の会場は、朝早くから熱気に包まれていました。天文台と文化センター運営ボランティア、そして文化センター職員らのスタッフは、午前10時集合。打ち合わせのあと、それぞれの持ち場に散り、手順の最終確認と準備に余念がありません。



今回のリサイタルは全席指定ですが、座席は、当日開場前に自分で好きな席を選んでいただくという方式をとりました。13時に座席指定開始の予定でしたが、11時過ぎには順番待ちの人たちがならび始める人気ぶり。





目的の座席を確保したあとは、開場までの間、ロビーでの展示を楽しんで頂いたり、控え室で曲目解説の載ったプログラムを読んで頂いたり。上の「絆」の文字は、天文台で星空観察の体験学習に参加した小学生達に書いてもらったもの、その中から1点が選ばれて、リサイタルのチラシやポスターに採用されました。星空の見える環境を子供達の世代につないでいきたいという願いを込めた、「絆」のテーマの一つです。

ロビーはKAGAYA氏のイラストの展示で埋められました。仮想の星空の世界が黄道12星座に始まって人々を深い星空の世界に誘い、太陽系やブラックホールまで、星空が実は宇宙であることを感じさせます。ホワイ工では、ヘールボップ彗星の写真や天文台の活動紹介の展示があって、こちらには現実の星空と天文台に関わる人々の姿が広がっています。

さらに、14：00の開場後、ホール内では加賀谷氏のイラストとヘールボップ彗星、百武彗星、上方光束ゼロ防犯灯導入に至った城南町での「星空の見える町づくり」など、画

像・映像をツイン
プロジェクターで
ステージに投影し
ました。



公演中の様子は、残念ながら撮影が禁止されていたのでここではご紹介できません。ただ、前夜、天文台をこつそり訪問され、「初めて天体望遠鏡で星空をながめた」という、みどりさんの当日の演奏は大変素晴らしいもので、会場は拍手の嵐、感嘆の声が飛び交っていました。

あれが一台のヴァイオリンから、1人の人の手によって引き出されている音だとは、なかなか信じられないですね!

半年以上かけて、多大なエネルギーをしつづけ込んだリサイタルが終了したあと、みどりさんはロビーにてて、熱心なファンの方々のサインの求めに応じ、握手していました。その首筋にできた痛々しいほどの赤いあざが、あの力強い演奏の結果であることは一目瞭然でした。彼女は、決して手抜きをしない人であったのだと思い感激しました。

多くのボランティアに支えられた、天文台の20周年行事が終わりました。今日からまた、新しい日を重ねていきましょう。



星の停車場(21) くじやく座・けんぴきょう座

土山由紀子

日没の空高く夏の大三角が懸かる頃、長い長い夏の終わりを告げる涼風が吹き始めます。9月に入るとこれら夏の大三角を作る星座が次々に子午線を通過し、その南でいて座、それから南天の星座くじやく座、ほうえんきょう座、けんぴきょう座が南中を迎えます。今月は、この中からけんぴきょう座とくじやく座をご紹介しましょう。

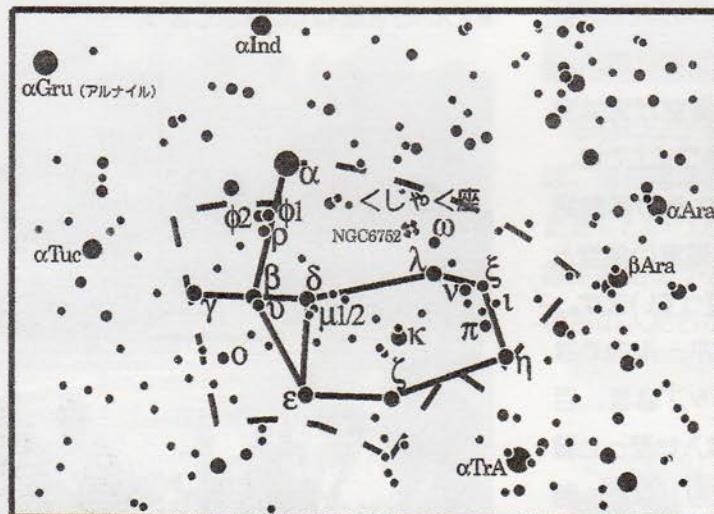
まず、南天の星座くじやく座から。

けんぴきょう座の星図を見ていただくと、 α 星(α Pav)のみが熊本市の地平線上に姿を現していますが、よほど条件を揃えない限り、実際に見るのは難しいでしょう。赤道直下のシンガポールまで南下しても南中高度30度以下ですから、くじやく座を楽に見ようと思ったら南半球へ行った方がよさそうです。

くじやく座は、ドイツの法律家バイエルが、オランダの航海士ピエトル・ディルクス・ケイザー（ラテン語名ペトルス・テオドリ）の手記を参考に星表『ウラノメトリア』（1603年）で制定した11星座の一つで、大航海時代の異国への憧憬を象徴しています。

クジャクの生息地はインドから東南アジアにかけての森林ですが、年に一度尾羽が生え替わるところから不死の象徴とされており、古代ギリシアでは神々の女王ヘラの聖鳥でした。神話もヘラに関係して伝えられています。

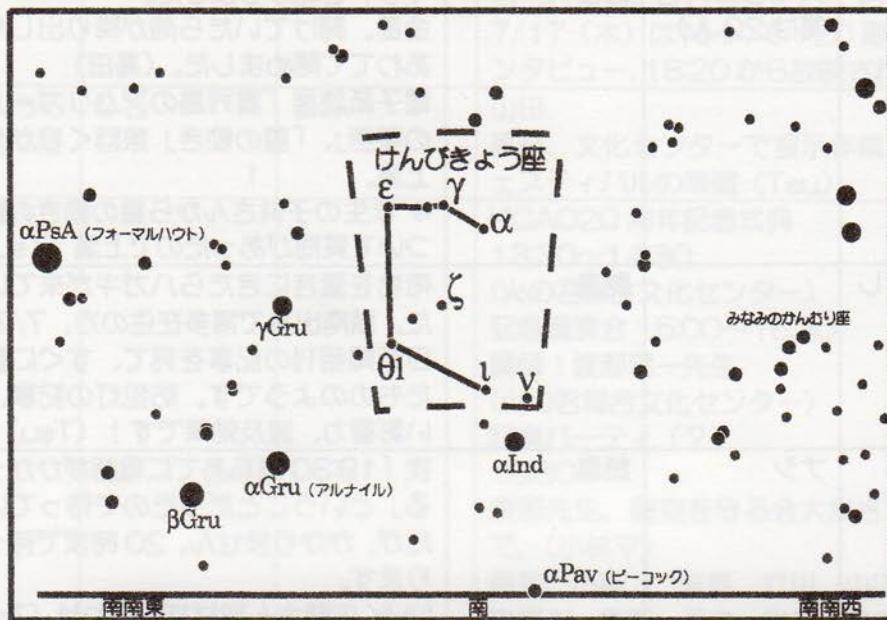
ヘラは夫のゼウスの子を身ごもったイオを見張るために100の目を持つ怪物アルゴスを遣わせますが、ゼウスはイオを救うため伝令神ヘルメスに相談し、ヘルメスは羊飼いの少年に変身すると、身軽にアルゴスに近づいて角笛を吹いて眠らせ首を切り落とします。その後ヘラは、アルゴスの目を全部取って、聖鳥クジャクの尾の飾り羽の中に置いたということです。



くじやく座で最も明るい星は、クジャクの目の位置に輝く1.9等の α 星ピーコック。もちろん、星座であるクジャクを意味する英単語 peacock が語源で、比較的新しい星名です。

他は暗い星ばかりですが、星座の形は意外にしっかりしていて、 β (3.4等)を胸、 δ (3.6等)・ ϵ (4.0等)・ ζ (4.0等)・ η (3.6等)・ ξ (4.4等)・ λ (4.2等)で作る円形を広げた尾羽と考えれば、あほろげなクジャクの姿が浮かんでくると思います。

また、 λ 星の北東にあるNGC6752は最も美しい球状星団の一つなので、南半球の空を眺める機会がありましたら、双眼鏡を向けてみるとよいでしょう。



一方 けんびきょう座は、低いため地平線上に姿を現すものの、5等星と6等星ばかりの本当に目立たない星座で、顕微鏡の形を思い浮かべるのも困難です。星図では9月15日21時30分の熊本の空を再現してみましたが、場所はいて座の東、やぎ座の南で、実質上星がほとんど見えない低空です。もちろん固有名のついた星もありません。

この星座は、18世紀のフランスの天文学者ラカイユが、遺著『Coelum Australē Stelliferum』(1763年)の南天星座目録で新設した18星座の一つ。他のラカイユの星座や、今では消えてしまった17世紀～18世紀の間に制定された多くの星座と同じように、当時の西ヨーロッパにおける科学の発展を記念して作られた星座です。

最初の顕微鏡は、オランダの眼鏡師ヤンセン父子によって1590年～1609年にかけて発明されたといわれ、丁度ラカイユが生きた時代に実用化され始めたところでした。ラカイユの星座絵に描かれた顕微鏡は、大きな箱状の架台に鏡筒が乗ったもので、現在一般的に使われている光学顕微鏡とは随分違った形をしています。

けんびきょう座の辺りには、もともと「Neper」という星座があり、これをけんびきょう座の前身と考える研究者もあるようです。Neperは、スコップのような穴を掘るための土木工具ですが、この古代星座 Neperの位置は、みなみのうあ座の近くであるとか、いつかくじゅう座の近くであるなどとも言われ、定まっていないようです。

7月の県民天文台 ~運営日誌より~

開台率 13日/15日=86.7% 一般来台者数 133名 会員来台 108名

日付	天気	来客数	担当運営	記事
6日 (土)	晴			星空寄席と小ゑんさんとの交流会
7日 (日)	くもり 一時雨	お客様 40 人くらい(名 簿は 22 人)	艶島、小林 M 高田	3時に来てスライディングルーフを開け、 マットを乾かしました。 金星。開けていたら雨が降り出したので あわてて閉めました。(高田) 電子紙芝居「喜界島のアムリガー」、「夏 の星空」、「星の動き」数回くりかえして 上演。↑ 4年生の子供さんから星の動きの観察に ついて質問があったので上演 (Tsu)
8日 (月)	雲多し		艶島	荷物を置きにきたらハガキが来ていました。 城南出身で博多在住の方。7/7 の朝 日新聞朝刊の記事を見て、すぐに書かれ たものようです。防犯灯の記事、すご い影響力、波及効果です！ (Tsu)
12日 (金)	小雨	ナシ	艶島	夜「19:30頃私あてに電話がかかってくる」ということだったので待っていましたが、かかりません。20時まで待って帰ります。 NHK 内藤さん取材打ち合わせ (Tsu)
13日 (土)	くもり	2名	高田、徳尾、 中島、鹿釜	アーケトゥルス、スピカ Talk About 7/20 記念式典、講演会について 7/21 子供フェスティバル 7/23~24 城南町夏祭り 7/27 みどりリサイタル 8/10 スターフェスタ 次回 Talk About は 8/17 艶島、小林 M、山田、松本、中尾の、熊 大天文部 5 名 艶島さん草刈り、おつかれさまでした (中尾の)
14日 (日)	快晴	なし	艶島、松本、 高田	台風 7 号に備えてスライディングルーフ 南側のトビラを外から目張りしました。 (高田)
16日 (火)	くもり	中学生 5 名	Tsu	中学 1 年生のワクワクリサーチ。城南町 についていろんなことをチームで調べる 総合学習。テーマに「星空の見える町づ

				くり」を選んだ子供たちがインタビューにやってきた。いろいろ質問を受け、説明した (Tsu) 山田さん
18日 (木)	くもり	時事通信社の記者	Tsu	「星空の見える町づくり」取材。夏休みの特集記事。小さな町のユニークな町づくりの中で取り上げたいとのこと。「取り組み方がとってもユニーク」と言っておられました。(Tsu) 7/17(木)はNHKで「20周年」のインタビュー、18:20から放映されました。
19日 (金)	くもり 時々雨	0名	松野	山田 扈間、文化センターで展示作業と子供フェスティバルの準備 (Tsu)
20日 (土)	はれ			KCAO20周年記念式典 13:30~14:30 (火の君総合文化センター) 記念講演会 15:00~16:30 講師：渡部潤一先生 (火の君総合文化センター) 記念パーティ(?) 18:30~ 渡部先生、星空を守る会大友さんを囲んで。(小林マ) 艶島、小林J、有馬、立川、山田、徳尾、中尾N、鹿釜、弓立、松本、高田、上塚、西嶋、下郡 from 川崎、三上 from 北九州、木戸 from 龍ヶ岳、中尾T、富永、中島、小林マ、長谷、ハイジの会
21日 (日)	晴	5名	艶島、小林マ 高田、松本	月、金星、アルビレオ 白鳥さん(小林マ) 子供フェスティバル in 火の君総合文化センター。 電子紙芝居：艶島 惑星模型製作：鹿釜 天文グッズ販売：中尾 T&N 科学実験：山田 中島、松本、小林マ、富永

23日 (火)	くもり	2名	高田、松本、鹿釜、中尾の	どん曇り。お客様が来られて、金星、月に望遠鏡を向こうとするも、雲に阻まれる。なんとかベガだけは見てもらうことができた。お客様が帰られた後、花火を見物。(中尾の) 城南町夏祭り ちびっこ広場：電子紙芝居の観客50人 売店売り上げ：¥3,000以上！
24日 (水)	はれ	3名	小林M、徳尾、中尾の	金星、月、アルビレオ、アンタレス、スピカ。 子供さん2名とそのお父さん。星に興味があるという男の子だったので、お土産に星空ウォッチングのパンフをあげました。 艶島、中島、中尾T、西嶋、山田、木戸、上塙 城南町夏祭り ちびっこ広場：観客100人！ 売店売り上げ：2日間トータル ¥13,400！
26日 (金)	くもり	11名	西嶋、長谷、山田	みどりさん来台！ 川尻小の先生ファミリー6名 みどりさんグループ3名 中年カップル2名 空気は澄んできれいなのに。あー、雲がー。合わせようするとやってくるー。 金星、ベガ、M57、ミザール、アンタレス 最後の中年カップルは、何ひとつ見られず。春の大曲線のお話と星の一生のお話で終わった。大そうじ？(西嶋)
27日 (土)	はれ	6名	松野、西嶋、中尾の	Sony財団より2名来台。 アルビレオ、M57、M13、ミザール、アルコル、アークトゥルス 大掃除の成果？運営日誌が行方不明。人呼んで「アダチ効果」。みどりリサイタル、大成功に終わる！(中尾の) 艶島、中島、小林M、松本、山田、富永、上塙、徳尾。文化センター運営ボランティアより、上田さん、西村さん。

28日 (日)	曇	30名	高田、中尾の 徳尾	ボーアスカウト 15分団 30名 望遠鏡の構造の説明。曇天の為、ステラ ナビゲータでの星空説明。 金星の見方、現在の星空、ペルセウス座 流星群、黄道 12 座（徳尾） 艶島記（23:40）今、長谷さんのお通夜 に行った帰りです。昨日「五嶋みどりリ サイタル」にかけつけようとして、長谷 さんが交通事故にあい亡くなっていた と、今朝電話を頂きました。全く信じら れないことでしたが…。26日夜には NHK のプロジェクト X のことやパソコン のこと、熊工の高校野球のことなどい つものように楽しくおしゃべりして別れ たことが夢だったかのようです。
29日 (月)	くもり はれ	29名	艶島、中島、 徳尾、中尾の	八代昭和小 25名 アルタイル、ベガ、アルビレオ、電子紙 芝居 電子紙芝居の「民話」が大人気！「上か ら順番に（上映）して…」という声も…。 観測室では、うす曇の中でしたが星を見 て楽しんでもらえたようです。（中尾の） 長谷さんの葬式に行って来ました。弔辞 を読むのは大変つらかったです。しかし、 いろいろな人の話の中に長谷さんの星に 対する思い入れの深さを感じられました (中島)
31日 (水)	くもり はれ		中尾の	天文部の後輩におねだりされて天文台に やって来たのは良かったものの、肝心の 空はどん曇り。夕方はあんなに晴れてい たのに…。きっと誰かの日頃の行いが悪 いに違いない。 → 数十分後、晴れ間が広がる！前言撤 回、ごめん。 M13、M4、M7、M6、M20、M8、 M31、M22、M28 久々に星雲星団を楽しむ。月が出てきた ので帰ります。（中尾の） 艶島、熊大天文部 3 名（平井、大和、大 浦）

金曜日の運営委員

長谷 勇治さん の死を悼んで

台長 艶島 敬昭



7月27日（土）、午後6時40分過ぎ、天文台の金曜日の運営委員である長谷勇治さんが亡くなられました。

天文台開設20周年記念「五嶋みどり リサイタル」の会場へ向かわれる途中、嘉島町鰯（なます）で熊本バスの大型バスと衝突、腹部を強く打たれたためです。事故は午後3時30分頃のこと、ほんの5分～10分間で会場に着くという時のことでした。

私達がこの悲報を知ったのは、一夜明けた日曜日の午前中、ご遺族から城南町役場を通じてご連絡を頂いてからでした。

長谷さんは、県民天文台を建設する課程で私たちの仲間に加わられました。開所以来20年間、毎週1回の運営日にはほとんど欠かすことなく天文台に姿を見せられ、ユーモアたっぷりの解説で一般の方々を星の世界へご案内し、運営委員を務められました。長谷さんが「どうしても運営に来られない」とあっしゃつたのは勤務先の熊本工業高校が甲子園に出場し、プラスバンド部の指導者として同行



星空寄席のあと天文台で

される時だけだったように記憶しています。そんな時、口では「困った困った」といいながら満面の笑顔で熊工の活躍を喜んでおられたのを思い出します。

長谷さんはまた、早くからパソコンに取り組み、自作ソフトを駆使してアマチュア天文学の前進に貢献され、県民天文台の情報技術化を推進した先駆けの1人です。

亡くなる前日、金曜日の夜、いつものようになに天文台へ来られ、熊工の今年の活躍に目を細め、みどりリサイタルのことを気にしながら、新しいデジカメのカタログを前にみんなと談笑していた姿が忘れられません。

ギリシャ神話のオルフェウスの悲しみにふれたような気がします。

私たちは大切な人を失ってしまいました。私たちにとって、「7月27日」は、20周年の喜びと長谷さんを失った悲しみの2重の意味で忘れられない日になりました。心から長谷勇治さんのご冥福をお祈りいたします。

残念でなりません。

7月28日、立川さんからの電話です。「訃報です」と言って言葉がつまり、低い涙まじりの声でした。

些か耳が遠くなっている私は「え誰が」と聞き直しました。「長谷先生が昨日城南で*****」と聞き取れました。そこで永井氏をお誘いして、お通夜に。

長谷先生は、懇切丁寧で面倒見も良く、ユーモアに富む方でしたから、お通夜の会場は、先生の死を惜しみ悲しんで、お参りに来られた生徒さんや先生で溢れる程でした。

先生は県民天文台でも、星の解説をしながら面白い話を交え、お客様を楽しませておられました。私は先生と同じ曜日の公開当番を数年間続けましたので、良く存じ上げています。

正直で公平、しかも何のけれん味もない立派な先生が、なんで突然天上へ。

ただご冥福を祈るのみですが、残念で残念でなりません。合掌。

宮本幸男

追悼 長谷先生

小林壽郎

「そこへ行けばいつでも星の仲間に会える、そこへ行けばいつでも星が自由に見える。そんな場所を造ろう・・・」、これは熊本県民天文台を造る時のスローガンでした。それから20年たちました、今年は記念の年です。

そんな時、突然長谷先生の訃報を聞きました。長谷先生とは金曜日の公開当番で一緒にいました。お天気のこともあって毎週とはいわないまでも、天文台で一緒に過ごす時間は多くありました。来台者が無くて、世間話をすることが多かったです。

「天文台へ来るのは星が見たいわけではない、見るだけなら家でも見えるから。公開することが楽しいわけでもない、人間相手は学校で十分やっている。それでも毎週くるのはね、職場でもできない・・・家庭でもできない・・・そんな話がここではできるから。」長谷先生は、天文台設立の趣旨を誰よりもそのまま具現していたと思うのです。

一足先に本当の星になってしまった長谷先生、これからは空の上から天文台の仲間を見守ってください。

あまりに早すぎる死を悼み、謹んでご冥福を祈ります。 合掌



追悼 長谷さん

中島 尚

2002年7月28日、日曜日の朝10時過ぎのことだった。息子を熊本工業高校へ送つていって、電気工事士の試験が終わるのを車の中で待っていたときのこと。携帯が鳴った。家内からの電話だった。滅多に電話してこない家内が、深刻な声で話しかけてきた。「天文台の長谷先生が亡くなったと、今連絡があった。」「はあ?」思わずこんな声しか出なかった。

だって、長谷さんとは前の晩、11時頃まで一緒に天文台にいて、色々話したばかりだった。一眼レフタイプのデジカメをどれにするかということで、大いに盛り上がった。熊工そばのカメラのキタムラに置いてある中古のフジのデジカメのことに話題が集中した。13万円ほどであるということで、長谷さんも大いに心を動かされている様子であった。

そして、明日に迫った「五嶋みどりリサイタル」についてもいよいよ盛り上がっていた。なにせ、この晩「みどり」が天文台へ星を見に訪れたのだから。何も知らずに解説をしていた西嶋さんことで、みんなは多いに湧いていた。また、翌日に迫った高校野球のことにも話は移っていました。熊工と済済賛の試合があるので、どちらを応援するかでちょっと悩んでいた。でも、やっぱり自分の教え子がいる熊工を応援するということだった。3者相談の苦労話もすいぶんと聞かせてもらった。そして、明日の再会を約して別れた。

土曜日。午後3時になっても彼の姿はなかった。野球が長引いているのかもしれないと思いながら、会場に入った。そして、コンサート終了後のティーパーティー。午後6時30分過ぎに終わったが、とうとう長谷さんは姿を見せなかった。不思議に思いながらも、学校の仕事が入ったのかもしれないと思い、深くは考えなかった。

思えば、前日の運営で睡眠不足になったのかもしれない。暑い野球の応援でそれに追い打ちをかけたのかもしれない。天文台で一番慎重な長谷さんらしくないことだった。

長谷さんとは天文台の運営について、色々と話すことがあった。もう少し楽しめる天文台にしていきたいねと、話していたところだったのに。これから、天文台の運営をしっかり頑張っていくことが、長谷さんに報いる道かもしれない。長谷さんのご冥福を心からお祈りします。



長谷先生の思い出

立川 正之

長谷 「最近、眼ん玉ん中にごみが、よー見ゆつごつなったり、ピントの合いにくくなったりですもんね。そぎゃんこつかね」。

立川 「先生、私もばってん、そら、所謂、老化現象たい。お互い年取ったねえ」。

長谷 「ニッコリ」。

中年おやじのこんな会話を交わしながら、これから益々楽しめるようになるなと感じ始めたのは皮肉にも、彼が昇天した一週間前の事だった。

彼とは、金曜日の運営で一緒だった。仕事や諸状に行き詰った時も、当番の夜は、星を見る事以上に彼との会話を唯一の楽しみにする、心安らぐひと時だった。

仕事のこと、生徒のこと、教師としての悩み、家族の事、星に関する事など、彼の言葉は人間味溢れていた。教師としておごり高ぶらず、他人の意見を親身に聞き、自分の意見を述べ、自己の利益を考えず、アドバイスされる姿勢は、幾度となく勇気づけられた。

私は、パソコンに関する愚問や、バカ話を引っさげて、よく、彼の自宅や、彼が教壇に立つ合間に縫って学校へ伺った。

自宅では、良く挨拶をする親譲りの真面目な三人の子ども達に感心し、また子煩惱な父親を垣間見た。

学校では、昼食も取らずに、懇切丁寧にバカな質問にも手取り足取り教えてくれた。パソコン知識の権威などまったく見せない姿に、質問が解ける以上に嬉しかった事を、今、思い出す。

「なんたらこうたら講釈つけて星見るより、明るく楽しい、心安らぐ、ワクワクする様な趣味の会にしたかね。それが趣味の世界と思うし、そこで人間付き合いが楽しく出来れば幸せだもんね。」彼の口癖だった。

「長谷先生、これからユニークな年賀状でお子様達の成長を拝見出来ない事は、少々寂しく思いますが、先生の言葉や面影を胸に、貴方の志は育てて行きたいと思います。では、また、星空でお会いしましょう。」



長谷さんの思い出

山本 重信

私が長谷さんを知ったのは、県民天文台が出来てしばらくしてからだと思いますので、もう20年位前のことになります。長谷さんが県民天文台の会員になられる前に天文ガイドに自作の天文ソフトを投稿して掲載されたのを見た時からになります。コンピューターに詳しい人だなあと印象をうけたものです。会員になられてからは、やはり物静かな思慮深い人だと納得しました。

長谷さんは、私より2つ年下で同じ大学の工学部の隣同士の学科であったため、たぶん大学のキャンパス内でも会ったことがあったかもしれないなあと思っていましたし、会員になられる前から知っていたような気がしてなりませんでした。結婚式にも出席させていただきましたし、毎年いただく年賀状も、長谷さんそっくりな子供さんの写真を手作りで年賀状に加工されていますので、本当に人柄がにじみでてほのぼのとした気持ちになりました。

まさか、こんなことになろうとは夢にも思いませんでした。いろいろな事を書こうと思いますが、なかなか文章に書こうとすると難しく思っていることの半分も書けません。

残された奥さん、子供さん達の思いはいかばかりかと察せられます。

ご冥福をお祈りします。



長谷勇治さんを偲んで

小林昌樹

長谷さんとの出会いは、熊本県民天文台ができて間もなく入会した時でした。私とほとんど同時期に長谷さんも入会されています。

入会したての頃、もう20年前の事になりますが、長谷さんと話をしていると、当時の天文ガイドに入選している人達がどんな機材を使っているのか、統計的に分析をされていた話を聞きし、大変驚かされました。当時の星屑にも寄稿されたかと思います。

また、天文台に初めてコンピュータが導入された頃、機械は富士通のFM-7でしたが、当時出版されていた中野主一氏がNECのパソコン用に開発された軌道計算関係のプログラムを富士通用に移植され、本当にコンピュータに詳しい方だと思いました。そのプログラムは、私も当時富士通製のパソコンを購入し、随分と愛用させていただきました。

天文台への入会時期がほぼ同じで、会員番号も私が247、長谷さんは248と続き番号で、職業も同じ公務員ということもあり、長谷さんの実直で、コンスタントな活動ぶりは常に私にとって励みになっていました。

長谷さんはいい意味でマイペースな活動をされ、熊本県民天文台にとっても欠くことのできない方になっていました。それだけに今回のことは信じがたく、ぽつかりと胸に穴があいたような気がしてなりません。

心よりご冥福をお祈りします。



「長谷先生の思いで」

金曜日運営担当 中尾富作

同じ金曜日担当だった長谷先生。まさか長谷先生が亡くなられるなんて、本当に今でも信じられないです。あんまり、担当の金曜日には行けませんでしたが、行けば必ずと言つていいほどお逢いする事が出来、眞面目に運営されていました。その独特な解説の仕方、大変勉強になりました。また、私のくだらない駄洒落で寒くなつたその場を、鋭いつっこみで、また暖かくして下さいました。

こんな事がありました。以前、天文台で使う写真を、大急ぎでデジタルプリントする事がありました。私はデジタルプリントの事は全然訳が判らなかつたのですが、天文台の人の話で、とにかくデーター持つて行け、そしたら焼いてくれる。とだけしか聞いていませんでした。よく判らんと思いながら写真屋さんに行くと、長谷先生がいらっしゃるじゃありませんか。先生を無理矢理つかまえて、「先生、かくかくしかじか、で、写真の出し方を教えて下さい」と頼み込みました。先生は、テスト焼きから本焼き150枚プリント出来るまで、お付き合いして下さいました。出来上がつた写真を持って、よーし、これなら、と一緒に天文台へ向かつたのです。

まだ、長谷先生がお亡くなりになつたなんて、信じられません。担当の金曜日が寂しいです。が、後ろ向きなことを言つていると、また鋭いつっこみが聞こえてきそうです。だから、先生、金曜日は任せて下さい、と記します。

変な文章になり、先生ご免なさい。うまく書けません。いろいろ御指導有り難う御座いました。御冥福をお祈りいたします。



長谷さんを想んで

【アリ屋の主長谷】

「長谷さん」

長谷さんと金曜日の運営と一緒にやるようになって何年たったでしょうか。

「今晚は一」という、いつもの声が聞こえるような気がします。本当に毎週の運営では頼りになる心強い仲間でした。たまに姿が見えないときも、「今日はどうしたんだろうね。珍しいね。」などと言っているうち、「仕事で遅くなって・・・」と、やって来られるのが常でした。「だめー。入れきらん、お願ひーー。」などというわがままも、ずいぶん聞いていただきました。運営が終わって教育談義に花が咲いたこともありましたね。もう、あの時間が戻らないことが残念でなりません。今、夜空のどこかで、天文台の様子を見守っておられるでしょうか・・・

西嶋



「長谷先生」

安達智子

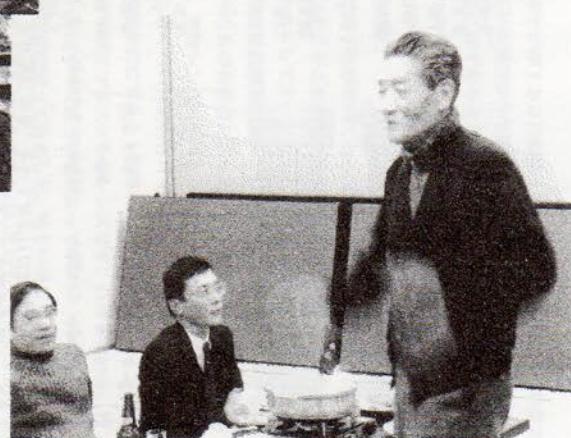
これを今年1月3日、山本屋であった天文台の新年会の記念写真を見ながら書いています。

この写真で笑っている長谷先生がもうこの世の人ではないというのが信じられません。天文台の運営委員をしていた頃は担当曜日が異なることもあります。あまり話をすることはありませんでしたが別に声高に主張するわけではなく物静かだけどコツコツとそこにいるのが当たり前の大変メンバーと思っていました。

こちらに来てからも百円グッズで望遠鏡を作る話などいかにも長谷先生らしいまじめだけど、楽しい星屑の記事を楽しみにしていました。

天文台も20周年を迎えてまた新たな旅立ちというのに大事な人を失ってしまいました。先生ご自身もまだこれから楽しみがあったでしょうに。残念です。

ご冥福をお祈りします。



いかに安上がりに月のあばたを見るか

老人は過去に生きる の巻

長治縣志

何十年前だったか、まだ塾や家庭教師などという言葉を聞くことなどほとんどなかつたよき小学校時代（戦後です戦後、念のため、私の友人の多くは学研の「9年の学習」なる雑誌を学校を通して買っていました。しかし、私は「9年の科学」を取っていたのです。理由は簡単で歯科鏡などの器具標本などの付録にかられてのことでした。

その付箋の一つに「40倍望遠鏡」なるものがあったのです。学年は高されましたか5年か6年だったと思います。紙の箇箇で3cm程度のレンズが付いており裏台はありませんでした。すでに小学校の図書室においてある宇宙についての本はほとんど読みんでしまっていたのに望遠鏡と名の付くものは何も持たなかつた私は、喜び勇んで組み立て、わくわくしながら満月の日まで待って鏡筒を向けたのです。そう、何度も何度も満月の日を選び見て見たのに、結局小学生の間に自分の目で月のあばたを見ることは一度もなが

筒の内側を黒く塗ったり、竹で丈夫な筒を作ったり、木切れで巻きも作ったのにどうしても見えなかつたのです。

時代のことです。学校の帰りに月が出ているのを見て、ふと望遠鏡があったことを思い出し、半日だけしまわいいかと夜にげなく覗いてみたのです。その時の感動は、その後の人生で何度も現れる大きな力になりました。

1年後に小遣いをはたいて買った8.4cmの反射で初めて土星の輪を見たとき以上のものでした。総天然色のぼけぼけの映像だったはずだし、クレーターも10個も数えらるかなかったのに、それがそのまま天体写真として残っています。これが私の土星観察の面占です。

ソズは今でも擦せばどこかに黙っているだらうと思います。話は変わって私の娘は4年生です。夏休みに入り、自由研究は何をしようか、と悩んでいる様子です。

先日本屋に行ったら自由研究のタネ本がたくさん並んであり、その中に懐かしい“年の科学”がセロファン袋に入って、さり気なく置いていたのです。中でも4年生の科学の付録は30倍ズーム望遠鏡でした。子供の勉強めらばと、仕方なく、いそいで1120円をレジで払ったのでした。実は同じ所においては、大人の科学シリーズとやらのマルコニ式電気カーヤエシソン式コップ蓄音機などのほうがよほど興味を引かれたのですが。子供が組み立てたのを見るとずいぶん小型で昔のものに比べるとデザインも変わらなかつた



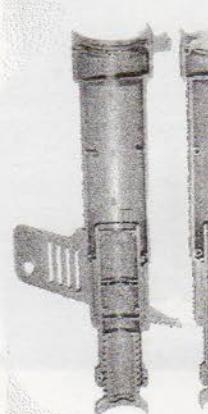
鏡ですが、レンズの大きさは見かけだけです。つまり、レンズの大きさは見かけだけです。良心的とはいえるのでしょうか。その他にズーム及び正立像にするための中間レンズが1枚、接眼レンズに2枚あり、すべて凸レンズです。接眼部の抜き差しでピントを合わせ、ねじ込みである接眼レンズを回転させることにより中間レンズとの距離を変化させ、倍率を2倍ほど変更できます。しかし、目に見えて倍率が変わらうな気がしません。何時も鏡である方向に

固定するところがアマテラスではなく、それ
短い三脚がありますが実用ではならず、それ
は作った方も分かっているようでカメラ3脚に
取り付けることができるようネジが切ってあります。
最後に見え味ですが、本当に数十年前を思い出す懐かしい色合いとボケです。以前紹
介した100円均一の老眼鏡と使い替へカメラのレンズを組み合わせた望遠鏡の方が明
かになって目もます。日のむぎだけならしく画面が暗く、ピント合わせると

ズームが離間です。まあ、正立像になる、という点だけは評価できますが。右に主要なデータをあげておきました。もう少し詳しく調べたいのですが、いかんせんデータを詳説するだけの光学知識の持ち合わせが無く、これ以上の調査はできませんでした。

今回は創作記事ではなく、単なる紹介に終わってしまい心苦しい限りですが、たまには色収差の派手な望遠鏡を覗

くのも嬉しいものです。
「<<おまけ>>
100円均一の文具売り場



いかに安上がりに月のあばたを見るか（中年オヤジ編）

KCAO Factory-2

40を過ぎた頃からどうもおかしい、と感じるようになりました。机の前に仕事方が
レンダーが貼つてありますか、いつの頃からか何となく文字の見え方がおかしい風う
ようになり、ある時、左目をつぶって見たら、明らかにボケています。最初は近視の
度が進んでしまったかと思ったのですが、なんと体を離すとハッキリ見えるではない
ですか。さらに追い打ちをかけられたのは工業技術センターに見学に行った時、微細
加工機械の前で小さなステンレス板を震させて「明かりに透かして見てください、何
が見えますか」と問われて「何も見えない」と答えたら「小さい穴が3つ並んでいる
でしょう」と言われてしまい、よくわからないまま「ああそういうわけてみればそうで
すね」と答へざるをえなかつた時のことです。

そのときのショックは30回目の誕生日を迎えた日に、自分が30代になったのだ
と気付いたとき以上のものでした。現在のところ左目がまだまともで文庫本や新聞も
一筋読みるのが難いではあります、先は長くはないような。。。
話は変わって、最近やたらと規模が大きくなつた100円ショップをうろつくと、
よくもまあこんなものが100円ボックで売れるものだと感心するようなのがど
っさり置いてあります。

そんな中に開けた虫眼鏡
と一緒に老眼鏡がたくさん置い
てあるのを見つけたのです。ブ
ラスチックレンズらしいです
が、プラスチックフレームや金
屬フレームなど形も色々取りそ

A black and white photograph of a pair of dark sunglasses. The frames are made of a thin, dark metal and have a classic, rounded rectangular shape. The lenses are dark and appear to be tinted. The sunglasses are positioned vertically in the center of the frame.

コースにハマッつてしまふのです。
眼鏡には度数を書いたシールが貼つてあります。2年前に買った広角鏡によると、ディオプター「レンズの焦点距離をメートル単位で表した数の逆数。レンズの凸面に従つて正または負。ジオブリー」とあります。つまり、2とあれば1／2mで焦点距離50cmということになります。そこで、1、5のものを買いました。

いかに安上がりに月のあばたを見るか（中年オヤジ編） KCAO Factory-2

いかに安上がりに月のあばたを見るか（中年オヤジ編）

KCAO Factory-2

長谷勇治

40を過ぎた頃からどうもおかしい、と感じるようになりました。机の前に行事カレンダーが貼ってありますか、いつの頃からか何となく文字の見え方がおかしいと思うようになります。ある時、左目をつぶって見たら、明らかにぼけています。最初は近眼のせいだと思って、度数を測らせてもらいました。度数を測らせてもらいました。

それでも、中年オヤジが100円札を手に持ち、大井の照明の檻を床に結ばせて焦点距離を調べているのはかなり異様であったろうと思われます。

しかし、レンズが簡単にはせずるようにと金属フレームのものを選んだのがまちがいで、組み立てた後しっかり接着してあるらしくどうしてもネジが回せません。仕方がないのでニッパとベンチでおそるおそる片を切り取ることにしました。プラスチック枠の方がよかったです。

ほかに用意したもののは蝶子鏡をいのった鏡筒で、人眼を使って顕微鏡鏡筒をみると65cm程あるのでそこそこの長さが必要です。接眼筒はこの鏡筒の切れ端を軸方向に切り裂き直径を小さくしてテープを巻き、鏡筒の内側に入るようになります。アイビースは前回作った虫眼鏡望遠鏡用の、レンズ付きカメラのカラから取った2枚

の凸レンズを使って作ったものを使用しました。筒の内側は簡単に黒いスプレーを吹き付けて済ませました。対物レンズは眼鏡レンズの形のまま、削ることもなく鏡筒先端にレンズの直径になるくらいに紙を巻いてセロテープで縛りつけました。結局、制作にはベンキが数く時間を別にすると1時間も掛かっていません。

さて、見え味ですがさがにプラスチックレンズです。口径28mm、F-2.3でも相当なものです。明るい星はすべてほうき星になってしまい、月の色もピューティフルです。そこで16mmほどに絞ってみました。明るい星はまだ尾を引きますが結構シャープになりました。月もコントラストはいまいちですが100円（片目だから50円？）望遠鏡だと思えば十分耐得できるものでしきょう。倍率は4.0～5.0倍程度でしょうか。口径の割に倍率が高いので像が暗いのが難点です。小学校5年生頃、雑誌の付録で初めて作ったシングルレンズの望遠鏡を思い出す見え味でした。

結局第四と同じく 110 内ほどで、月の多くのあはたのみならず現直径が大きいところの金星の形もわかるものができました。木星の衛星もいくつか見えますが、模様ははっきりしません。土星は明らかに小さい暗闇には見えますがりりングとしては見えるような、見えないような、という程度です。

いいレンズに当たり、光軸をうまい具合にあわせることができれば結構見えるものができます。おひまなの方は是非一度作ってみてください。



木皿は角を折した事もあるのですから、

B5 のたわごと

夏のイベントも一通り終わり、一息ついているこの頃です。相変わらず暑いですね～9月に入れば少しは涼しくなるのでしょうか。身体はもうバテバテ寸前ですよ。夕立つていうのが最近無くなっていますか？夕方、こうべーって雨が降って涼しい風が吹いてくるっていうのが、以前はよくあったような。都市熱っていうのも考え物ですよね。

☆H14年度分の会費納入をお願いします。正会員8000円 友の会会員5000円☆

★9月の天文現象＆行事★

- 1日（日） 水星が東方最大離角 ($27^{\circ}12.7'$ 0.3等 視直径 $07.2''$)
- 2日（月） うみへび座Sが極大（周期257日 7.2～13.3等）
- 5日（木） 木星がプレセペ星団に最接近
- 7日（土） 新月（12：10）
- 8日（日） 白露(はくろ…秋の気配が強まり、草木の葉に露が白く光るという意味)
- 14日（土） 上弦（03：08）
- 15日（日） いて座σ星（2.1等）の星食（17：48福岡潜入）
- 18日（水） はくちょう座乙が極大（周期263日 7.1～14.7等）
- 21日（土） 中秋の名月 満月（22：59）
- 22日（日） 土星が西矩（0.0等 視直径 $18.4''$ 環視直径 $41.7''$ ）
- 23日（月） 秋分(しゅうぶん…昼夜同じ長さ(等分)になる日で秋分。秋の彼岸の中日)
- 26日（木） 金星が最大光度（19：40 -4.6等 視直径 $39.7''$ ）
- 30日（月） 下弦（02：03）

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2002年9月号 通巻330号

発行所 熊本県民天文台事務局 TEL 861-4226

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作

ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>

